

1 テーマ ICTを活用した「多様な他者との協働的な学び」の一体的な充実

2 テーマ設定の理由

本校は、平成24年度より小中一貫校となり、昨年度で11年を迎えた。開校当初より、教育課程特例校として「ふるさと科」「国際コミュニケーション科」を新設し、学校独自の教育課程を実践している。また、委員会活動においても、小中一貫校の利点を生かし、「みさと会」という名称で5年生から9年生（中学3年生）までの5学年で運営している。このような特色ある活動に取り組んでいる一方、小規模校特有の固定化された人間関係から革新的な意見やアイデアを創出しづらい環境であるともいえる。そこで、ICTを活用し、他校との交流や情報交換によって新しい風を吹き込み、児童生徒の主体的な活動を促したいと考え、本テーマを設定した。

3 実施学年 第9学年（中学3年）

4 実践内容

Meet を活用した「中山間地域のよりよい未来とは」に対する意見交流

4校（引佐北部中・佐久間中・水窪中・春野中）合同オンライン交流活動

(1) 日 時 令和5年10月～11月の1時間

(2) 参加者 各校の中学3年生

(3) 教科・領域 学級活動

(4) 活動の目標

- ・各校で取り組んでいる特色ある活動を紹介し合う活動を通して、各学校の特色を共有するとともに、「中山間地域のよりよい未来とは」に対する意見交流を通して、各学校や地域の発展のためにどんなことができるか考える足掛かりとする。

(5) 活動の流れ

<事前準備>

- ・4校共通のクラスルームを立ち上げ、各校の中学3年生の代表者を招待しておく。
- ・各校で事前に学校紹介の資料（1～2分程度のもの）を作成しておく。  
（口頭での発表でもよい。）

<実践当日>

- ・各校の代表者が共通のクラスルームに入り、学校紹介の準備をする。
- ・作成した資料をもとに、各校のよさや課題を発表する。（2分×4校＝8分）

- ・ ジャムボードを活用し、「中山間地域（小規模校）のよさと課題」に対する意見を出し合う。（14分）
- ・ 意見を参考に、各校で「中山間地域のよりよい未来とは」の意見をまとめる。（14分）
- ・ 各校の意見を発表する。（質疑応答をふくめて3分×4校=12分）
- ・ 指導講評（2分）

#### <事後活動>

- ・ 各校で、活動を通して感じたことや考えたことについて振り返る。

#### (6) その他

- ・ 各校の管理職の承諾のもと、リアルタイムで実施できるように日程調整をする。

### 5 予想される成果と課題

#### <予想される成果>

- 他校の生徒との交流を通して、自校の生徒同士では得られなかった視点の意見を共有することができる。
- 初対面の人と接する機会を通して、対人コミュニケーションのスキルを高めることができる。
- 共通のテーマで話し合うことを通して、小規模校や中山間地域ならではのよさや課題について意見を共有することができる。
- Meet での交流を通して、今後の交流活動の足掛かりとすることができる。

#### <予想される課題>

- I C T 活用の技術的な問題（接続状況の不具合、タイピング等のスキルなど）
- 画面越しでのやりとりのため、自分の思いや考えが相手にうまく伝わらないこと
- 対人コミュニケーションの苦手な生徒へのフォロー
- リアルタイムで同時に接続するための時間の確保や日程調整の手間